(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 2月 13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100272		
法人名	社会福祉法人 可部大文字会		
事業所名	グループホーム Hanamizuki		
所在地	広島市安佐北区可部南3丁目10番22号 (電話) 082-815-2199		
自己評価作成日	令和2年1月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100272-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年2月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成22年8月に開設し、当初より社会福祉協議会主催の文教女子高等学校での花見イベントへ毎年参加をし、地域のボランティアには定期的に来設いただく等、地域との交流やボランティアとの繋がりを何より大切にしている。ハード面においては3階に展望浴場、屋上に憩いのスペースを設けており、散策やイベントの場として利用している。ソフト面においては、施設内外の研修を年間計画に基づいて実施している。また入居者自身のニーズに応え、出来る事、したい事、四季を通しての施設外散歩や地域参加を行い、個別ケアに取り組んでいる。その他、当法人の各事業所との交流により、情報を共有するネットワーク作りの構築を進めている。防火災害対策にも力をいれており、近隣地域と防災協定を締結している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所が大事にしている点として、地域との密な関わりを挙げている。例えば、近隣高校のさくら祭り（太鼓演奏、フラダンス、お茶の提供等）に毎年参加し、高校生のガイドヘルプも有り、購入した弁当を食べ楽しく交流している。その他様々なボランティアの訪問が有り、地域交流は多岐に及んでいる。また利用者への個別支援にも力を入れている。災害対策に於いても、地域としっかり連携を取り「地域に頼るだけでなく、地域に何が出来るか」に取り組んでいる。日々のケアに於いても、施設方針に掲げられている共感・責任・誇りの3つを柱に、職員はサービスに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ユニットごとに毎日、朝の業務引き継ぎ時に職員で理念と施設目標の唱和をおこない、職員の意識統一をおこなっている。フロアに理念と年間目標を掲示している。	法人理念の他に、事業所は施設方針「職務に責任と誇りを持ち、共感の満足度を創出する」を定め、利用者に寄り添った支援・地域と共に暮らせる事を掲げ、実践に活かせる取り組みを行っている。また職員は反省点をアンケートに沿って話し合い、利用者のその人らしい暮らしを、支援出来る様実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域からの行事参加や呼びかけには積極的に参加している。地域からのボランティアの受け入れも積極的に行い、特にミミの会傾聴ボランティアは設立当初から継続して受け入れている。	町内会には加入していないが、積極的に広く地域と繋がっている。また地域の行事や近隣の高校のイベントにも毎年参加し、ミミの会（傾聴活動）ボランティアは毎月来所が有り、職員は地域とのつきあいの大切さを理解し、日々支援に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	同法人内の職員が講師を務める認知症サポーター養成講座の案内を行い、参加を促している。その他相談等あれば随時行っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、約2か月ごとに小規模多機能事業所と合同で会議を行い、多様な話し合いが行われている。その中で地域代表の方より行事の催しなどの情報交換を行い、参加させて頂いている。	会議は2か月に1度定期的開催し、利用者や家族の出席の下、話し合いを行っている。会議内容は活動報告や今後の予定、又利用者の状況（ヒヤリハット等も含む）の報告も行き、地域包括センター等の意見を参考に、今後のサービスに活かすよう取り組んでいる。	運営推進会議は定期的に行われているが、現状ではこの内容が議事録として欠席家族に届けられていない。今後の改善課題の情報共有のためにも、この会議録の送付についての対応が望まれる。また家族が参加し易い日程を考慮する等、更なる取り組みに期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	区担当者だけでなく、広島市担当者への問い合わせ等も必要があれば、その都度連絡をとるようにしている。	日頃から関係を築く努力をしている。例えば医療行為の有無に関しての問い合わせ等、相談しながらケアサービスに活かす取り組みがある。市町主催の研修会等にも積極的に参加し、協力関係を築くよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止研修の実施や委員会の活動にて、身体拘束の理解を深めている。玄関には防犯の為電子錠を使用しているが、ご家族やご来訪の方が自由に押せる位置に開錠ボタンがあり、どなたも気軽にボタンを押していただいている。	職員は、身体拘束をしないケアの大切さについて、研修やそれを基に話し合いを行い把握している。例えば自由行動が頻繁な利用者には、行動パターンを把握する等、リスクを減らすよう取り組んでいる。また言葉による拘束にも気配りをしながら支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待について、法令に基づいたマニュアルを置き、研修を行っている。高齢者虐待についてフロア会議などでも話し合う機会を設けている。また高齢者虐待のニュース等があった場合回覧し、自施設の振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者と委員会を中心に職員のレベルに応じた研修を行っている。成年後見制度、権利擁護については現任研修で研修を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所に係る面接時等、また入所後も随時、利用者様、家族様からの意向を伺い対応を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情解決に係る整備を行い、いつでも苦情を受け付け、解決に向け体制を整えている。また、介護サービス計画書の承諾をいただく際には、要望、意見を伺い反映させている。	家族から意見を求める機会は設けている。担当の職員から定期的に電話等で、身近な出来事を知らせる努力をしている。例えばサービス外の要望があれば、(特段の理由が有る場合)実費負担で、行える事を伝える等、事業所は家族の意見を反映するよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議を中心として意見を聞くこととし、各提案について積極的に意見交換を行っている。また、毎週1回、本部において行われる全体朝礼、2月に1回のリーダー会議、推進会議の内容を各職員に伝達し反映している。	職員からの意見は、会議前のアンケートを基に意見交換や、個人面談等様々な場面でを行っている。また職員からの要望で、物品管理方法の改善事案があれば、必要に応じて反映させるよう取り組んでいる。事業所は、働きやすい環境を作る為の体制づくりを行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1回メンタルヘルスチェックを行っている。また年に2回自己評価を行いボーナス、昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	介護福祉士、介護支援専門員へのスキルアップ等を積極的に支援している。また、年間計画に基づいた新入職員に対するOJTを行うとともに、施設外研修の参加も勧めている。資格取得におけるサポートも行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の各事業所との交流や合同の行事への参加もあるなど、職員間の交流もあり、相互に情報交換を行い、サービスの質の向上を互いに目指している。法人外とのネットワーク作りは出来ていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個々の利用者様との対話を大切にし、利用者様が何に不安を抱いていて、何を求めているかを常に聞くと共に、職員間で情報を共有している。特に入居時には早く馴染めるよう共同作業等行っている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている。</p>	<p>家族様からの要望や困り事などは、積極的に話し合いを行い、疑問、要望等があれば、面会時、電話などでも聞いていただけるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>どのようなサービスを求められているのかを見極め、必要とされるサービスが事業所で提供できるかを常に検討しながら、相談にのっている。また、入居時には要望を聞き出し、ケアプランに反映させている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様と職員の間になじみの関係を築き、利用者様も家族の一員であると常に考えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様からの意見を率直に伺うとともに、常に連携し、利用者様にとって何が一番良いかを念頭に置いて関わっている。また、毎月、家族様へ状態や本人の希望を手紙にて報告している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>一人ひとりが馴染みの人や場所との関係が途切れない様に配慮している。地域の公園への散歩や買い物など、また知人への手紙、電話のやりとり等行っている。以前住んでいたサ高住との共同の行事で交流することもあった。</p>	<p>職員は入居前に本人の利用希望文書を作成し、本人が希望することを把握、関係継続の支援に努めている。例えば同じ敷地内（サ高住）に居住している家族と共に散歩に出掛けたり、地域住民が民謡や園芸ボランティアで訪れたり、馴染みの関係が途切れないよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係や認知症のレベルを把握し、孤立しないように言葉かけや会話で誘導し、レクリエーションや日常生活で関わり合いを持っていただくように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他事業所に転居された利用者様も行事等で利用者様同士顔を合わせる機会がある。退所された利用者様、家族様の来訪もあり、相談も継続的に随時行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族様と情報交換または、利用者様の意向を聞き把握している。利用者様本位を念頭に検討し、サービス計画に反映している。	思いを把握する為、担当者は手紙等で近況報告を行っている。また家族や関係者から話を聞き、日々の暮らしに役立てるよう努めている。希望の把握が困難な場合、職員は利用者のニーズに合ったケアサービスを検討し、食生活の見直しから歯科医の診療に繋がった事例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面接時に本人、家族に生活歴、生活習慣、環境、嗜好を聞き、把握している。また今まで利用していた事業所からの引き継ぎ書を参考にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者一人ひとりにあつた一日の過ごし方が出来るよう、本人の思いを汲み取り、日々の介護に反映できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様、担当職員間との話し合いにより、意向を反映した介護計画を作成している。また、月に1度、モニタリング(評価)6ヶ月に1回ケアチェックを行い、現状の把握を行っている。</p>	<p>モニタリングは月1回行い、本人、家族の意見を基に、必要な関係者が現状に即した介護計画を作成している。また平素の会話から情報の掘り起こしを行い、カンファレンスを行っている。状態の変化がある場合は、評価、見直しを適宜現状に沿って修正立案している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>6ヶ月毎のモニタリングの際、個人記録やモニタリング、ケアチェックを参考にし、定期的な見直し、及び状態の変化に応じて、随時の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様や家族様の要望に応じ、受診時の送迎や買い物等の外出希望時等、柔軟な対応をし、ルーチンワークにならないようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者様の意向や必要性に応じ、幼稚園や小学校、地域の行事等、地域の方との交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科、歯科医師の往診体制が整っており、ご本人様が希望する病院等も含め、急変時の連携も行っている。要望があれば、往診時に家族も参加してもらい、主治医より説明を受ける事もある。</p>	<p>利用者や家族の希望で、従来のかかりつけ医に通院する利用者もいる。多くは事業所の協力医(内科)の往診を受け、24時間オンコール対応しており法人の看護師と共に支援している。必要時は他科への受診等、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師や医療機関との連絡体制が整っており、日常的に協力し、介護状況の報告、情報交換を行い、健康管理を支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>安心して退院ができるよう、定期的の様子を伺いに行き、医師や看護師との情報交換や相談を行っている。家族様との連絡等、退院後の生活に向けての連携を行えるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に本人、家族に意向を伺い、指針、マニュアルを整備し、チームケアの支援体制を整えており、重度化した場合において再度意向を伺い、また主治医との連携体制も整え今後の方針を決めている。</p>	<p>入居時に説明は行われ、重度化した場合、改めて家族に説明し同意を得ている。同事業所は看取り経験の職員が数人居り、マニュアル等で研修も行っている。協力医は必要に応じて往診し、職員は家族と共に情報を共有しながらチームで支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成しているとともに、初期対応の研修などで対応等を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成しているとともに、火災、水害を想定した消防訓練を行っている。また、また、地域と平成25年11月に、防災協定を締結した。</p>	<p>事業所は、ハザードマップで位置を確認し、地理的環境を把握している。年2回の避難訓練及び研修を行っており、法人運営の他の建物が、一次避難場所としての位置付けも有る。また地域と防災協定を結び協力体制を築いている。備蓄も確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねる言葉かけ、対応はしていない。また、記録等の個人情報の取り扱いは慎重に行っている。	職員は、接遇研修を通して利用者の誇りやプライバシーの大切さを理解している。日常支援に於いても、言葉遣いや記録の取り方、保管にも配慮しながら、利用者の生活歴等を把握し、人格を損ねない暮らしを支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員は、利用者様が自己決定したり、希望を表出しやすくする事を大切に、それを促す等の取り組みを日常的に行っている。また、よく分かるよう、納得がいくよう説明をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースに合わせて、職員の都合により、強制することなく、安心して過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	事業所内に定期的に美容師の方に来ていただき、利用者様の意向を聞きながら行っている。また、なじみの理美容室を希望された場合はその都度出かけられる支援を行っている。服も可能な限り選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様のペースに合わせて、一緒に料理やおやつの準備片付けをしている。安全に配慮した見守りや声かけを十分行っている。料理レクを実施することにより、イベント的に男女問わずに関われるよう支援している。	日常は朝・夕配食を利用し、昼は法人内他施設より用意されている。食事環境もテーブルの配置や高さ等工夫されている。時には食事レクで出掛ける事もある。イベントでお弁当を楽しんだり、買い物に出掛ける等、職員は工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>昼食は管理栄養士による献立に基づき、栄養バランスのとれた食事、また季節を感じていただく食事を提供している。朝食、夕食は高齢者向けの配食サービスを利用している。また、利用者様の食事、水分摂取量を毎食チェックし状態に応じた対応を随時行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、きちんと歯磨き、口腔内の手入れ、うがいをしよう、職員が見守り、確認を行っている。異常があれば、直ちに歯科往診をできる体制を整えている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定時、随時にトイレ誘導、声掛けを行い、できるかぎり、トイレにて排泄を行っていただいている。</p>	<p>トイレは各フロア5カ所（車イス対応3カ所）有り、排泄表を通じて誘導の機会を把握し支援している。夜間はポータブルトイレやセンサーを利用し、排泄の自立に向けた支援に努めている。便秘の対応も薬に頼らず、出来るだけ運動や食事（水分）を工夫しながら支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>散歩、運動や起床時の冷水にて腸動を促したり、水分摂取により、便秘の予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>お好みの浴槽に入っただく等、個々に応じたに入浴や、季節に合わせゆず湯等の支援をしている。また、中止をした場合には、別日に入浴、または清拭を勧めている。</p>	<p>入浴回数は概ね週2回で、ヒートショック対策も行われ、現在は入浴困難な利用者はいない。入浴日には事業所の看護師が出勤しており、バイタルや皮膚の状態等、心配りしながら入浴の支援に努めている。また本人や家族の希望で、専用シャンプーを使用している利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中自由に過ごしていただき、静養される方もいる。夜寝付けない方には暖かい飲み物などを提供し、職員と話して過ごしてもらうなど工夫している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は、薬の目的や副作用について把握に努め薬情の確認を行っている。服薬の確認、体調の変化も記録し、医療機関、調剤薬局と連携している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者様の個々のレベルに応じて、個々の利用者様に依りて家事の手伝いや製作物作成等の支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>利用者様の希望により、散歩に出かけたり、買い物に出かけたりしている。外出レクリエーションや法人、地域の行事へ出かける機会がある。</p>	<p>日常は事業所の玄関先に出て日光浴を楽しんだり、近隣にある公園に出掛けたりしている。時には児童館まつりや可部南地区めぐりに参加し、近隣高校のイベントに外食を兼ねた外出支援を行っている。職員は住み慣れた町で暮らし続けられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用者様の状態により、お金のトラブルの防止するため施設管理としているが、お金に関する不穏を招かないよう希望に応じて財布を確認していただくたり、お金を自身で所持していただき一緒に買い物に行く等の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者様の希望により、電話等、家族様への連絡を行っていただくようにしている。定期的に施設に電話をしてこられる家族様をいらっしゃる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間に吹き抜けがあり、自然の明かりを取り入れている。壁面に写真やお便りなど、また利用者様の作成した作品を掲示している。また、季節の花を飾り、季節感を感じられるようにしている。3階フロア及び緑化スペースは、合同レク等に利用し気分転換に役立っている。</p>	<p>利用者が日頃集まるリビングは、吹き抜けの中庭が有り、大きな掃き出し窓から光が入ってくる。壁には協力して作成したちぎり絵やぬり絵が、季節を感じさせている。更に利用者が読み終えた本の数々を、3階の浴室近くにミニ図書館として設置している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>談話室や面談室があり、家族や利用者同士で過ごしたりし、居場所づくりをしている。利用者様の思いや、状態に応じた場所で過ごせるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に今まで使っていたものを持ってきていただくようお話し、居室内に自分のタンスや親しんだ小物等も置かれ、家庭的な感じをそのまま居室につくり出すようにしている。</p>	<p>居室はベットや洗面台、備え付けのクローゼットが完備されている。利用者は各々思い出の写真や手作り品を飾り、中には小さな仏壇も置いている。ドアの上部には大きめの窓が有り、利用者の希望で窓にポスターを張る人もいる。入口横には表札が掛けてあり、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様のペースに配慮しながら、できること、できそうなことを職員が見極め、すぐに介助に入るのではなく、持っている力を維持できるようなケアを含め、見守りを行っている。杖の使用や歩行器の使用をするなどをし、歩くことへのサポート体制をとっている。手すり等も設置している。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	☐ ①ほぼ毎日のように ☐ ②数日に1回程度 ☐ ③たまに ☐ ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	☐ ①大いに増えている ☐ ②少しずつ増えている ☐ ③あまり増えていない ☐ ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	☐ ①ほぼ全ての職員が ☐ ②職員の3分の2くらいが ☐ ③職員の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	☐ ①ほぼ全ての利用者が ☐ ②利用者の3分の2くらいが ☐ ③利用者の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	☐ ①ほぼ全ての家族等が ☐ ②家族等の3分の2くらいが ☐ ③家族等の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ユニットごとに毎日、朝の業務引き継ぎ時に職員で理念と施設目標の唱和をおこない、職員の意識統一をおこなっている。フロアに理念と年間目標を掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域からの行事参加や呼びかけには積極的に参加している。地域からのボランティアの受け入れも積極的に行い、特にミミの会傾聴ボランティアは設立当初から継続して受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	同法人内の職員が講師を務める認知症サポーター養成講座の案内を行い、参加を促している。その他相談等あれば随時行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、約2か月ごとに小規模多機能事業所と合同で会議を行い、多様な話し合いが行われている。その中で地域代表の方より行事の催しなどの情報交換を行い、参加させて頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	区担当者だけでなく、広島市担当者への問い合わせ等も必要があれば、その都度連絡をとるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止研修の実施や委員会の活動にて、身体拘束の理解を深めている。玄関には防犯の為電子錠を使用しているが、ご家族やご来訪の方が自由に押せる位置に開錠ボタンがあり、どなたも気軽にボタンを押していただいている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待について、法令に基づいたマニュアルを置き、研修を行っている。高齢者虐待についてフロア会議などでも話し合う機会を設けている。また高齢者虐待のニュース等があった場合回覧し、自施設の振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者と委員会を中心に職員のレベルに応じた研修を行っている。成年後見制度、権利擁護については現任研修で研修を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所に係る面接時等、また入所後も随時、利用者様、家族様からの意向を伺い対応を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情解決に係る整備を行い、いつでも苦情を受け付け、解決に向け体制を整えている。また、介護サービス計画書の承諾をいただく際には、要望、意見を伺い反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議を中心として意見を聞くこととし、各提案について積極的に意見交換を行っている。また、毎週1回、本部において行われる全体朝礼、2月に1回のリーダー会議、推進会議の内容を各職員に伝達し反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1回メンタルヘルスチェックを行っている。また年に2回自己評価を行いボーナス、昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	介護福祉士、介護支援専門員へのスキルアップ等を積極的に支援している。また、年間計画に基づいた新入職員に対するOJTを行うとともに、施設外研修の参加も勧めている。資格取得におけるサポートも行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の各事業所との交流や合同の行事への参加もあるなど、職員間の交流もあり、相互に情報交換を行い、サービスの質の向上を互いに目指している。法人外とのネットワーク作りは出来ていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個々の利用者様との対話を大切にし、利用者様が何に不安を抱いていて、何を求めているかを常に聞くと共に、職員間で情報を共有している。特に入居時には早く馴染めるよう共同作業等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族様からの要望や困り事などは、積極的に話し合いを行い、疑問、要望等があれば、面会時、電話などでいつでも聞いていただけるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>どのようなサービスを求められているのかを見極め、必要とされるサービスが事業所で提供できるかを常に検討しながら、相談にのっている。また、入居時には要望を聞き出し、ケアプランに反映させている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様と職員の間になじみの関係を築き、利用者様も家族の一員であると常に考えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様からの意見を率直に伺うとともに、常に連携し、利用者様にとって何が一番良いかを念頭に置いて関わっている。また、毎月、家族様へ状態や本人の希望を手紙にて報告している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>一人ひとりが馴染みの人や場所との関係が途切れない様に配慮している。地域の公園への散歩や買い物など、また知人への手紙、電話のやりとり等行っている。以前住んでいたサ高住との共同の行事で交流することもあった。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係や認知症のレベルを把握し、孤立しないように言葉かけや会話で誘導し、レクリエーションや日常生活で関わり合いを持っていただくように努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	他事業所に転居された利用者様も行事等で利用者様同士顔を合わせる機会がある。退所された利用者様、家族様の来訪もあり、相談も継続的に随時行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	家族様と情報交換または、利用者様の意向を聞き把握している。利用者様本位を念頭に検討し、サービス計画に反映している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	面接時に本人、家族に生活歴、生活習慣、環境、嗜好を聞き、把握している。また今まで利用していた事業所からの引き継ぎ書を参考にしている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	利用者一人ひとりにあつた一日の過ごし方が出来るよう、本人の思いを汲み取り、日々の介護に反映できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様、担当職員間との話し合いにより、意向を反映した介護計画を作成している。また、月に1度、モニタリング(評価)6ヶ月に1回ケアチェックを行い、現状の把握を行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>6ヶ月毎のモニタリングの際、個人記録やモニタリング、ケアチェックを参考にし、定期的な見直し、及び状態の変化に応じて、随時の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様や家族様の要望に応じ、受診時の送迎や買い物等の外出希望時等、柔軟な対応をし、ルーチンワークにならないようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者様の意向や必要性に応じ、幼稚園や小学校、地域の行事等、地域の方との交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科、歯科医師の往診体制が整っており、ご本人様が希望する病院等も含め、急変時の連携も行っている。要望があれば、往診時に家族も参加してもらい、主治医より説明を受ける事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師や医療機関との連絡体制が整っており、日常的に協力し、介護状況の報告、情報交換を行い、健康管理を支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>安心して退院ができるよう、定期的の様子を伺いに行き、医師や看護師との情報交換や相談を行っている。家族様との連絡等、退院後の生活に向けての連携を行えるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に本人、家族に意向を伺い、指針、マニュアルを整備し、チームケアの支援体制を整えており、重度化した場合において再度意向を伺い、また主治医との連携体制も整え今後の方針を決めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成しているとともに、初期対応の研修などで対応等を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成しているとともに、火災、水害を想定した消防訓練を行っている。また、また、地域と平成25年11月に、防災協定を締結した。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねる言葉かけ、対応はしていない。また、記録等の個人情報の取り扱いは慎重に行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員は、利用者様が自己決定したり、希望を表出しやすくする事を大切に、それを促す等の取り組みを日常的に行っている。また、よく分かるよう、納得がいくよう説明をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースに合わせ、職員の都合により、強制することなく、安心して過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	事業所内に定期的に美容師の方に来ていただき、利用者様の意向を聞きながら行っている。また、なじみの理美容室を希望された場合はその都度出かけられる支援を行っている。服も可能な限り選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様のペースに合わせ、一緒に料理やおやつの準備片付けをしている。安全に配慮した見守りや声かけを十分行っている。料理レクを実施することにより、イベント的に男女問わずに関われるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>昼食は管理栄養士による献立に基づき、栄養バランスのとれた食事、また季節を感じていただく食事を提供している。朝食、夕食は高齢者向けの配食サービスを利用している。また、利用者様の食事、水分摂取量を毎食チェックし状態に応じた対応を随時行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、きちんと歯磨き、口腔内の手入れ、うがいをしよう、職員が見守り、確認を行っている。異常があれば、直ちに歯科往診をできる体制を整えている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定時、随時にトイレ誘導、声掛けを行い、できるかぎり、トイレにて排泄を行っていただいている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>散歩、運動や起床時の冷水にて腸動を促したり、水分摂取により、便秘の予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>お好みの浴槽に入ってもらえる等、個々に応じたに入浴や、季節に合わせゆず湯等の支援をしている。また、中止をした場合には、別日に入浴、または清拭を勧めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日中自由に過ごしていただき、 静養される方もいる。夜寝付け ない方には暖かい飲み物などを 提供し、職員と話して過ごして もらうなど工夫している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員は、薬の目的や副作用につ いて把握に努め薬情の確認を行 っている。服薬の確認、体調の 変化も記録し、医療機関、調 剤薬局と連携している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>利用者様の個々のレベルに応じ て、個々の利用者様に応じて 家事の手伝いや製作物作成等 の支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>利用者様の希望により、散歩 に出かけたり、買い物に出かけ たりしている。外出レクリエー ションや法人、地域の行事へ 出かける機会がある。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>利用者様の状態により、お金の トラブルの防止するため施設 管理としているが、お金に関 する不穏を招かないよう希望 に応じて財布を確認していただ いたり、お金を自身で所持して いただき一緒に買い物に行く 等の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様の希望により、電話等、家族様への連絡を行っていただくようにしている。定期的に施設に電話をしてこられる家族様をいらっしゃる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間に吹き抜けがあり、自然の明かりを取り入れている。壁面に写真やお便りなど、また利用者様の作成した作品を掲示している。また、季節の花を飾り、季節感を感じられるようにしている。3階フロア及び緑化スペースは、合同レク等に利用し気分転換に役立っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	談話室や面談室があり、家族や利用者同士で過ごしたりし、居場所づくりをしている。利用者様の思いや、状態に応じた場所で過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に今まで使っていたものを持ってきていただくようお話し、居室内に自分のタンスや親しんだ小物等も置かれ、家庭的な感じをそのまま居室につくり出すようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者様のペースに配慮しながら、できること、できそうなことを職員が見極め、すぐに介助に入るのではなく、持っている力を維持できるようなケアを含め、見守りを行っている。杖の使用や歩行器の使用をするなどをし、歩くことへのサポート体制をとっている。手すり等も設置している。		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	☐ ①ほぼ毎日のように ☐ ②数日に1回程度 ☐ ③たまに ☐ ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	☐ ①大いに増えている ☐ ②少しずつ増えている ☐ ③あまり増えていない ☐ ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	☐ ①ほぼ全ての職員が ☐ ②職員の3分の2くらいが ☐ ③職員の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	☐ ①ほぼ全ての利用者が ☐ ②利用者の3分の2くらいが ☐ ③利用者の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	☐ ①ほぼ全ての家族等が ☐ ②家族等の3分の2くらいが ☐ ③家族等の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームHanamizuki

作成日 令和2年3月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は定期的に行っているが、他家族への情報共有不足、参加数増加への取り組みが必要。	・会議に参加できなかった家族への情報共有。	毎回の会議内容を家族に送付する。	3か月
			・会議参加者を増やせるような取り組み。	家族面会時に運営推進会議の意義や内容を説明し、気軽に参加できるように促していく。	6か月
				現在平日に会議開催していることが多いが、土日、祝日等の開催で参加し易いように配慮する。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。